



としょかんだより

令和7年9月

第4号

牡丹山小学校図書館

こんげつ

今月おすすめのテーマ



おじいさん・おばあさんってすごい!

9月の第3月曜日（今年^{ことし}は9月15日）は、敬老の日^{けいろう ひ}です。この日は、おじいさん、おばあさんの長寿^{ちようじゆ いわ}を祝うための日です。日ごろお世話^{せ わ}になっている、おじいさん、おばあさんに感謝^{かんしゃ}の気持ち^{きも}を伝え^{つた}ましょう。

おじいさん、おばあさんが登場^{とうじよう}するお話^{はなし}は
とてもたくさんあります。ゆかいなおばあさん、
やさしいおじいさん、知恵^{ち え}を授^{さず}けてくれるおじ
いさんたちは、物語^{ものがたり}の中で大^{なか}か^{だい}つやくしますよ!



『おじいちゃんがおばけになったわけ』キム・フォップス・オーカソン／作
エヴァ・エリクソン／絵，本の番号：みどり⑧



ある日とつぜん姿^{すがた}を消^けしたおじいちゃんが、おばけになっ
てエリックの前^{まえ}にあらわれた! どうやら、この世^よに忘^{わす}
れものがあるらしいのです。おじいちゃんとエリックは忘^{わす}
れものを探^{さが}しにあちらこちらへ出^でかけますが、見^みつかりま
せん。おじいちゃんはいったい何^{なに}を忘^{わす}れたのでしょうか。

『あたまをつかった小さなおばあさん』

ホープ・ニューウェル／作，山脇百合子／絵，本の番号：933に



おばあさんは、とてもびんぼうです。けれども、どんな
にこまった問題^{もんだい}でも、おばあさんは上手^{じようず}に「あたま」を使^{つか}
ってきりぬけます。「つかわないのなら、あたまなんかも
ってたって、なんのやくにたつね?」が口^{くち}ぐせのおばあ
さん。いつも「あたま」を使^{つか}って、いろん^{かんが}なことを考^{かんが}えて
いますよ。

『ドングリ山^{やま}のやまんばあさん』

富安陽子^{とみやすようこ}／作，大島妙子^{おおしまたえこ}／絵，本の番号：913 と



ドングリ山^{やま}にすんでいる「やまんばあさん」は、オリンピック選手^{せんしゅ}より元気でプロレスラーより力^{ちから}持ち。しかも、なんと296歳^{さい}！！ある日^ひ、とんできた商店街^{しょうてんがい}の広告^{こうこく}チラシを自分^{じぶん}への手紙^{てがみ}だとかんちがいたやまんばあさん。100年^{ねん}ぶりに町^{まち}へおりて行くと、やまんばあさんの突然^{とつぜん}の出現^{しゅつげん}で町^{まち}は大さわぎになってしまい・・・。

『おじいちゃん^{くちぶえ}の口笛』

ウルフ・スタルク^{さく}／作，アンナ・ヘグルンド^え／絵，本の番号：949 と



ベラにはおじいちゃん^{じぶん}がいません。そこでベラは、自分の理想^{りそう}のおじいちゃんを探^{さが}しに老人ホーム^{ろうじん}へ行^いきます。運^{うん}よくおじいちゃんになっ^なてくれる人^{ひと}を見^みつけ、にせもの「おじいちゃん」と「孫^{まご}」は、お互^{たが}いを思^{おも}いやりながら楽しい日々^{たのひ}を過^すごしますが、それも長^{なが}くは続^{つづ}きませんでした。ふたりに何^{なに}がおこったのでしょうか。

保護者向け

としょかんだより



子どもが読書習慣を身につけると、親にもお得がありますよ！

夏休みも終わり、学校生活が始まりました。この時期は子どもたちの生活のリズムを少しずつ整えていく頃になりますが、そのリズムの中に「読書の時間」を加えてみていただきたいと思います。

子どもたちが帰宅後に家庭で過ごす中にある「勉強の時間」、「習い事の時間」、「メディアの時間」のように、「読書の時間」を用意してあげてください。読書は習慣ですから、最初から時間を用意してあげることで習慣化が進みます。「一緒に読もう」「お話の内容を教えてね」などの声掛けをするといいですね。

読書が身に着いた子どもは、病院の待ち時間や車での移動中に本を読んで待つことができます。騒ぎを注意したり、機嫌をとることも必要ありませんから親は楽ができて、得をします。もちろん子どもにとっても読書習慣はお得です。